



王仁博士生誕地を訪ね

論語、千字文（漢字）、技術
工芸の伝授など、4世紀頃に百
済文化を日本に伝えたといわれ
る王仁博士の生誕地訪問ツアー
が、8月19日から21日まで3日
間行われました。



このツアーは、神崎市、神埼
町観光協会が一体となって、神
埼町竹原にある「王仁天満宮」
を観光資源として掘り起こすこ
とで地域活性化に活かし、また、
市民への顕彰と王仁博士につい
ての調査研究を行うことで、今
後の利活用の方角性を検討する
ために、王仁博士生誕地の霊岩
郡を訪問しています。

今回の訪問ツアーには、神埼
町観光協会、王仁天満宮のある
神埼町竹原地区の方々など40人
が参加しました。訪問団は、釜
山到着後約4時間かけて王仁博
士の生誕地である全羅南道霊岩
郡に移動し、霊岩郡副郡守を表
敬訪問し、交流を行いました。
翌日は、王仁博士遺蹟址の霊
月館ビジターセンターで王仁博
士の足跡について説明を受けた
あと、園内の施設を見学しまし
た。遺蹟址は、国立公園である
月出山の麓にあり、広大な敷地
に祠堂をはじめ、王仁学堂、博
士像や王仁博士が伝えた千字一
文字一文字を個性豊かに一人ひ
とり書かれた千人千字文碑など
がありました。
また、バスで移動して王仁博
士が日本に向けて船出したと伝
えられている上台浦も車窓から
見学しました。
王仁博士が渡来する前から朝
鮮半島との様々な往来があった
吉野ヶ里遺跡のすぐ近くに王仁
天満宮があることから、何らか
の関係があるのではないかと考
えられています。
今後、訪問の成果を生かして
王仁博士を顕彰し、観光、文化
などの交流や王仁天満宮周辺の
整備について検討していきたい
と考えています。

日本代表として出場



8月31日、ハンドボール女子
ジュニア・アジア選手権の日本
代表に選ばれた神埼清明高校3
年の福井亜由美さん(17)が、神
埼市役所を表敬訪問しました。
9月14日からカザフスタンで
開催されたアジア選手権には、
全国から20歳以下の選手16人
が選ばれ、
数少ない
高校生の
代表選手
として選
出されま
した。
福井さ
んは神埼

町姉川在住で、小学生からハン
ドボールをはじめ、174センチ
の長身を活かしたパワーある
攻撃と、俊敏なパス回しが持
ち味。高校卒業後も大学でハン
ドボールを続ける予定で、将来
の活躍も期待されている選手で
す。「自分ができていることを考え
一つでも多く勝てるようにチー
ムに貢献したい」と試合に向け
ての意気込みを語りました。
松本市長は「日本代表として
活躍してくれる選手がいること
はとても嬉しい。がんばってく
ださい」と激励しました。
アジア選手権で、日本は4位
になり、来年7月にチェコで開
催される世界選手権への出場権
を獲得しました。

ドライパー手袋を
老人クラブが寄贈!



8月31日、神崎市老人クラブ
連合会神埼支部女性部は、神埼
地区交通安全協会の城島訓浩会
長に、交通事故をなくしたいと
いう思いを込めて女性会員が丹
念に毛糸で編んだドライパー手
袋100双を寄贈しました。
交通安全協会では警察等と一
体となり、この手袋を交通安全
運動のキャンペーン等でドライ
パーに配布し、交通事故防止を
呼びかけることにしています。



**2011親子のふれあい
キャンペーン**
9月3日に、神崎市B&G海洋センターで「親子のふれあいキャンペーン」を開催しました。台風の影響で、日帰りのデー

キャンプとなりましたが、神崎市をはじめ、県内から6組13人の親子が参加し、弥生時代の火おこし体験など、様々な体験活動を行い、親子で話し合い、協力することの大切さを学ぶ貴重な体験ができました。これは、日常生活では体験できない多彩な野外体験活動とおして、親子の絆を深めることを目的とし、B&G財団の助成を受けて実施しています。



世界のレベルを実感



2011年マウンテンバイク世界選手権大会に出場した神崎町在住の野田拓司選手が9月8日、大会の報告に市役所を訪れました。マウンテンバイク競技は、未

舗装で高低差のある山道を自転車で行く競う競技。野田さんは、小学生からマウンテンバイクを始め、現在は、久留米大学に在学し練習に励んでいます。8月に中国で開かれたユニバーシアードでは、28年ぶりに復活した自転車競技日本代表として、世界の強豪相手に6位入賞を果たしました。2011年マウンテンバイク世界選手権大会は、8月31日から9月4日までスイスのシャンペリーで開催され、野田さんは、チームリレーとU-23男子クロスカン トリーに出場。チームリレーではアンカーをつとめ19位。クロスカン トリーでは、後

方からのスタートと条件が悪い中、緊張から2回落車するも、最後まであきらめず力走し、86人中75位でゴールしました。野田さんは、成績を松本市長に報告。世界戦を振り返って「自分が考えていたよりもはるかに速く高いレベルのレースだった。これからは筋力強化に励み、また世界に挑戦したい」と話しました。また、今後の予定について「就職は自転車競技を続けられる所が理想ですね。次の目標は、来年5月に開かれるロンドンオリンピック選考レース。優勝して、オリンピックに出場したい」と意気込んでいました。

中学生の意見を市長に発表



平成23年度第2回神崎市中学生サミット会議が8月29日、神崎市中央公民館で開催されました。中学生サミット会議は、市内

3中学校の生徒会本部役員が集まり生徒会活動の報告や情報交換、かせち条約（礼儀作法、文武両道、規則厳守、思いやり、環境保護の市内中学生が守る5つの誓い）の取り組みを報告する会議で年3回行われています。今回は、市長を招き、「私たちが大人になった時、こんな神崎市なら安心して住めるなあ」というテーマで、懇談会が開かれました。懇談会では、市長の中学生時代から市長になるまでの話を聞いた後、各校がテーマについて事前にまとめたものを発表。それに対して市長が意見を述べました。「市の活性化と雇用問題解決のためにショップピングセンターを造ってはどうか」



日頃の訓練成果を披露

神崎市消防団夏季訓練が8月28日、脊振グラウンドで行われました。

訓練には、639人が参加。訓練を前に、久保敏之団長が「消防団は、一致団結が肝心。日頃の訓練の成果を発揮し、集中して訓練をお願いしま

す。消火も大事ですが、一番は火事を出さないこと。防火広報にも務めて下さい」と訓示。訓練では、分列行進、通常点検に続き、各分団で消火の速さと規律を競う小型ポンプ操法も行われました。

団員たちは、指揮者の号令で、ホースをのびし、素早くポンプにつなぐと、火災に見立てた赤いコーンを目がけ放水。猛暑の中、日頃の訓練の成果を披露しました。小型ポンプ操法の成績は次の通りです。
1位 第2分団（神崎町）
2位 第3分団（神崎町）
3位 第1分団（神崎町）

か「大人になった時に夢が持てる神崎市であってほしい」「交通の便や福祉に力を入れては」などの提案がありました。議員顔負けの質問に市長は「大型店を作るためには、消費する人口が必要。人口を増やすには雇用や福祉と別々の問題でも繋がっている。まちづくりは一人ではなくみんなで行っていかなくてはならない。これからも関心をもって情報収集して、何か気づいた点があったらまた教えて下さい」と話しました。その後行われた協議では、4月から取り組んでいる東日本大震災支援活動報告や支援先、支援物資について話し合いが行われました。

コミュニティ助成事業
姉地区で事業完了!



▲フェンス設置



▲遊具 (滑り台付きジャングルジム)

平成23年度のコミュニティ助成事業で採択を受けている3団体のうち、次の1団体において助成事業が完了しました。

この事業は、(財)自治総合センターが、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの社会貢献広報事業を行うことを目的に実施されています。

◎姉地区

- ・遊具、フェンス施設整備
- (一般コミュニティ助成事業)



8月17日から19日までの3日間、はなぎーホールと下村湖人生家で、第14回夏休み『次郎物語』読書会が開催されました。

期間中は多くの小学生が参加し、『次郎物語』を読み上げたり、昨年千代田東部小学校6年生が制作したカルタ等の遊びを通して、次郎の生き方を学びました。



神崎市国土利用計画審議会答申



8月17日、神崎市国土利用計画審議会の古賀義治会長から松本市長へ「神崎市国土利用計画(案)」の答申がなされました。

答申では、「地域の特性を活かした土地利用を推進し、神崎町・千代田町・脊振町の均衡ある発展を図ること」などを提言、本計画が着実に推進されるよう要望されました。

答申を受け取った松本市長は、約3ヶ月にわたり審議いただいたことへの謝辞と、市の土地利用について「適正かつ有効に活用を図り、より良い状態で次世代へ引き継がれるよう努力していきます」と挨拶しました。

指導力向上を目指して

神崎市教師塾が、8月9日、10日の2日間、千代田総合支所会議室で開催されました。

教師塾は、教師の指導力と資質向上のため、模擬授業や講話などの講座を年20回行っています。毎年1度、ライオンズクラブの協力でライオンズクエスト・ワークショップと呼ばれるアメリカで生まれたライフスキル教育プログラムを2日間にわたり開いています。

今年で4回目となる今回は、



誘致企業と意見交換



8月24日、各市町と佐賀県により誘致された企業との意見交換会が神崎市役所で開催されました。

説明のほか、出席された企業からは自社の事業環境や直近の業況等が説明され、今後の地域経済のあり方やエネルギー問題など幅広く情報交換が行われました。

市内外から16人が参加。ライフスキルトレーナーの北山俊和さんを招き、健全な生活に対する責任やプラス思考の仕方などを生徒と先生役にわかれてのロールプレイや参加者を生徒に見立てた模擬授業など実践的なプログラムで学びました。

2日間を終え、参加者からは「2日間参加して良かった。9月から生徒に教えるのが楽しみ」 「学力を伸ばす一つの切り口を教えて頂いた。子どもたちに還元したい」などの感想が寄せられました。

熱戦を市長に報告



7月の県予選を勝ち抜き、九州大会へ出場した市内の中学生が8月26日、市長を表敬訪問しました。

報告には、市内の3中学校から9団体約40人の生徒達の代表者が、それぞれ市長に九州大会の成果を報告しました。

松本市長は「これからも努力の心をいかして大きく成長してもらいたい」と生徒たちを激励しました。

神埼清明高校女子が優勝

2007青春・佐賀総体記念 佐賀県高校生ハンドボール大会

8月28日に、神埼中央公園体育館及び、トヨタ紡織九州クレインアリーナで2007青春・佐賀総体記念佐賀県高校生ハンドボール大会（神埼市体育協会主催）が行われました。

佐賀県内の高校から、男子7チーム、女子5チームが参加しました。どの試合も白熱し、選手や応援の皆さんが大会を盛り上げていました。結果は、次のとおりです。



男子パート優勝 佐賀清和高校

【男子パート】
優勝 佐賀清和高等学校
準優勝 神埼清明高等学校



女子パート優勝 神埼清明高校

【女子パート】
優勝 神埼清明高等学校
準優勝 佐賀清和高等学校

○中学総体主な結果

競技名	学校・個人名	県大会	九州大会	全国大会
新体操男子個人総合	栗山巧(神埼中)	優勝	優勝	
新体操女子団体	神埼中	優勝	3位	27位
ハンドボール男子	神埼中	優勝	ベスト8	
ハンドボール女子	神埼中	優勝	1回戦敗退	
ソフトボール	神埼中	2位	1回戦敗退	
剣道女子個人	眞鍋奈々(神埼中)	3位	1回戦敗退	
剣道女子個人	安永あゆみ(千代田中)	優勝	2回戦敗退	ベスト16
バレーボール男子	脊振中	優勝	予選リーグ敗退	
卓球女子個人	宮地祐衣(脊振中)	3位	1回戦敗退	

子どもクラブ球技大会

8月7日、第6回神埼市子どもクラブ球技大会が、神埼市脊振勤労者体育館と神埼市脊振小学校グラウンドで行われました。



ミニバレー優勝 岩政倉・一番ヶ瀬下・広滝東合同チーム

ミニバレーボール・キックベースボールの両競技で白熱した試合が行われ、観客からは大きな声援があがっていました。

【試合結果】
○ミニバレーボール
優勝 岩政倉・一番ヶ瀬下・広滝東合同チーム(脊振町)
準優勝 石井ヶ里(神埼町)
3位 駅ヶ里(神埼町)
○キックベースボール
優勝 尾崎西分(神埼町)
準優勝 犬の目(神埼町)
3位 広滝東(脊振町)



キックベースボール優勝 尾崎西分チーム

各競技の優勝チームは、8月27日に行われた第41回県子連球技大会に出場しました。

各チームとも熱戦を繰り広げ、ミニバレーでは、出場した岩政倉・一番ヶ瀬下・広滝東合同チームが3位と健闘。キックベースに出場した尾崎西分は、惜しくも予選を突破することはできませんでしたが、神埼市代表にふさわしい堂々とした戦いぶりを見せてくれました。

